

群弓連だより

118号

平成31年3月

群馬県弓道連盟

発行人 鈴木康弘

会長勇退にあたって

群馬県弓道連盟 会長 鈴木康弘

4年前、思いがけず群弓連の会長を務めることが決まってから、群弓連の皆様には多大なるご支援をいただき誠にありがとうございました。お陰様でどうにか2期4年の任期を全うすることができました。

会長就任後の大きな仕事の一つは、今は亡き金山正一前理事長のご助言を頂きながら、協力して会則等の改定を行ったことです。この改定も更なる改善点も見つかりこれらについては後任の皆様には託します。

私は、高崎支部・群馬を通じて、常に非主流の道を歩んでまいりましたが、会長に就任して間もなく、何の後ろ盾もなく、才覚も無い私が「範士」になれたのも皆様方のご支援があったからと感じており「会長」にしてくださったことについては「感謝」「感謝」です。

会長就任の年の「錬士臨時中央審査会」に引き続き翌年には「臨時中央審査会」を主管し、再任の年には「国体関東ブロック予選会」と関東ブロックで8年に一度回ってくるこれらの大きな行事を無事完了できたのも会員皆様のご協力の賜物と感謝いたします。

前任の範士須田定雄会長の下での8年間副会長を務めて以来12年間携わった中枢での仕事では、会員各自の更なる弓道精進のきっかけを作ろうと、片田舎の群弓連へ「スポーツ指導者養成講習」「地域社会弓道指導者研修会」などを通じて中央の先生方を招聘し「井の中の蛙」状態からの脱却を目指したことも大きな思い出です。

2028年には「群馬国体」開催が本決まりになりました。前回の昭和58年群馬大会は渋川市の範士九段齋藤友治全弓連会長を中心として群弓連会員が一致団結し、その結果、弓道競技総合優勝を勝ち取った輝かしい歴史があります。2028年の開催時には私は75歳になっていますので、9年後の「群馬国体」は後進の方々をお願いしたくこの度の勇退を決意しました。

国体の成功を目指すために、八段そして範士として全弓連から講習会や審査会に全国各地に派遣された経験から、あえて群馬を考えると次のような印象となります。地理的・気候的環境から「明日もきっといい天気だ」的な上州人気質から、耐え忍ぶ中に未来への希望を見出し、その夢に向かって努力するという事が苦手のようです。耐え忍ぶ必要性もないから、各自が一匹狼的とでもいうか、それぞれが親分気質です。これでは後輩を育てる努力もしないし、その後輩たちは育てられたという恩義も感じない。自分の弓道が上手くなれたのは自分の努力で、他人のお陰ではない。という思いが根底に流れている。このように述べると、「立志伝中の人物」に全員が成れそうな群馬ですが、「弓道」の場合にはこのような「上州人気質」は不利なように思われます。



会長挨拶、会長勇退にあたって
ジュニア部会の活動について …… 2

高校部会からの報告
お知らせ、編集後記

… 3～8

日本の伝統的文化「武道」の一つである「弓道」を習うことは、取りも直さず「伝統の継承」ですから、上述のような悪しき「上州人氣質」から脱却しなければなりません。我々は、何しろ「上州人」ですから「群馬の弓道」も容易くは変わらないでしょう。しかし、スポーツ指導者資格保有者は240名を超え全国で5番以内、認定審判委員も130名以上もいますので、射法射技の向上、競技力の向上、弓道の普及などの課題を克服し、群弓連会員が一致団結すれば群馬国体弓道競技総合優勝も決して夢ではないと確信しています。

今年は丁度、元号も変わる年ですから、皆でもう一度弓道を問い直す良い機会にして、国体開催に向かって努力していきましょう。会長職を引退する私ですが、上州の弓道人として及ばずながら出来る限りの協力をさせていただきます。

*****ジュニア部会からの報告*****

平成30年度ジュニア部会の活動について

ジュニア部会では、昨年度に引き続き県スポーツ協会の補助事業である「拠点施設活用事業」認定を受け、ジュニア弓士の強化活動に取り組みました。

5月から2月まで行われた強化練習には、一回平均23名もの中学生が参加し、射技や体配の修練を積みました。その効果は徐々に実を結び、7月16



日に日本武道館で行われた「平成30年度全日本少年少女武道(弓道)練成大会」において、「おおたA」チーム(監督:吉川剛さん、選手:吉川翠華さん(樹徳中学校2年)、長谷優花さん(太田市立旭中学校2年)、矢野結以奈さん(ぐんま国際アカデミー中等部3年)が見事「敢闘賞」を受賞しました。全国から参加した193チーム中の8位という成績は、群馬県勢初の快挙です。

続く「全日本中学生弓道大会」では、男女団体個人の2チーム2個人で予選突破を目指しましたが、あと一步のところ突破はなりませんでした。

他の事業としては、春夏の「群馬県小中学生弓道大会」を開催しました。両回とも60名前後の小中学生の参加がありました。

11月下旬には、関東地連のジュニア普及事業である「群馬県中学生弓道講習会・大会」ならびに上毛新聞社主催の「群馬県小学生総体」の【弓道競技】を開催、小中合わせて60名以上の参加がありました。

また、今年度初めて県スポーツ協会の中学生特別強化事業である「競技力向上対策費 競技力向上推進事業ジュニア育成事業」の認定を受けました。これは来るべき「群馬国体」に向けた強化事業で、中学校に部活動がない種目のうち、競技人口の多い種目に対する強化事業で、この認定により野辺山高原の弓道合宿のメッカ「帝産ロッヂ」にて秋季強化合宿を行い、競技力向上の練習を行ってきました。

国体選手の主力候補世代である、中学生小学生の強化は、群馬県の弓道競技力向上に寄与するものと考えます。これからも役員一同、全力で指導いたします。ぜひ皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

*****高校部会からの報告*****

平成30年度 県高等学校弓道春季大会

- | | | |
|--------|---------------------|--------------------|
| 1. 期 日 | (男子) 平成30年4月21日(土) | (女子) 平成30年4月22日(日) |
| 2. 会 場 | ALSOKぐんま武道館弓道場 | |
| 3. 参加者 | (男子) 団体戦43校 補欠戦・個人戦 | 総計455名 |
| | (女子) 団体戦43校 補欠戦・個人戦 | 総計429名 |

4. 競技方法 団体戦は各校3名2チームが出場。
予選は各自4射計12射で男子5中以上、女子4中以上が予選通過。
決勝は各自4射計12射を行い、予選との合計で順位を決定。
個人戦は各自4射で2中以上が予選通過。
決勝は各自4射計を行い、予選との合計で順位を決定。

5. 成績

◎団体 (同中は競射により順位決定)

(男子) 1位 市前橋A 2位 農二A 3位 尾瀬A 4位 高崎B

(女子) 1位 市前橋A 2位 四ツ葉A 3位 育英A 4位 太女B

◎個人 (同中は1位のみ射詰競射で5本目から8寸的使用、他は遠近競射)

(男子) 1位 榎原彩斗 (共愛2年) 2位 星野伊吹 (尾瀬3年) 3位 北村昂大 (高崎3年)

4位 新井弘祐 (高北2年) 5位 大森翔貴 (高崎3年)

(女子) 1位 松井桃葉 (四ツ葉2年) 2位 岡田優里美 (市前橋3年) 3位 近藤奈都未 (伊勢崎3年)

4位 高橋美希 (市前橋3年) 5位 小木曾若菜 (育英3年)

平成30年度 第53回群馬県高等学校総合体育大会弓道の部

(兼) 第62回関東高等学校弓道大会県予選会

1. 期 日 平成30年5月11日 (金) 男子団体予選・個人決勝 12日 (土) 女子団体予選・個人決勝
13日 (日) 男女団体決勝

2. 会 場 ALSOKぐんま武道館弓道場

3. 参加数 (男子) 43校 334名 (女子) 44校 352名

4. 競技方法 団体戦は各校3名1チームが出場。予選は各自8射、計24射を行い、的中順に上位16チームが予選通過。決勝も各自8射、計24射を行い、予選との合計で順位を決定。
個人戦は団体戦出場者を含めて各校12名以内が出場。予選は各自4射を行い、2中以上が更に4射を行い、予選の成績と合計して順位を決定する。ただし、団体戦出場者は団体戦予選の成績をこれにあてる。

5. 成績

◎団体 (同中は競射により順位決定)

(男子) 1位 市前橋 2位 前橋 3位 市太田 4位 農二

5位 吾中央 6位 伊勢崎 7位 太田 8位 高崎

(女子) 1位 市前橋 2位 尾瀬 3位 四ツ葉 4位 太女

5位 勢農 6位 前商 7位 前南 8位 伊勢崎

※ 男女上位各4校が6月1日 (金) ~6月3日 (日) に千葉県千葉市で実施される第62回関東高等学校弓道大会に出場。

◎個人 (同中は1位のみ射詰競射)

(男子) 1位 高橋 椋 (育英3年) 2位 斎藤 大葵 (県央2年) 3位 齋藤 廉 (前橋3年)

4位 田鍋 春翼 (市太田3年) 5位 関 健太郎 (前橋2年)

(女子) 1位 松井 桃葉 (四ツ葉2年) 2位 濱上奈々未 (育英3年) 3位 齋藤 李実 (育英2年)

4位 須藤満理奈 (農二3年) 5位 五十嵐静香 (伊勢崎3年)

平成30年度 第62回関東高等学校弓道大会

1. 期 日 平成30年6月1日 (金) ~6月3日 (日)

2. 会 場 千葉県千葉市千葉県総合スポーツセンター体育館メインアリーナ特設弓道場

3. 参加数 男女各県代表の36チーム

4. 成績

◎団体 (男子) 予選 市太田10中、前橋16中、市前橋17中、農二9中

前橋、市前橋が予選通過 (予選通過は16チームで15中競射1/4)

(女子) 予選 四ツ葉7中、太女10中、尾瀬16中、市前橋18中

尾瀬、市前橋が予選通過 (予選通過は14中競射2/5)

(男子) 団体決勝トーナメント

1回戦 前橋 7-7 山北(神奈川)〈1-3〉、市前橋 8-7 岩槻商業(埼玉)
 2回戦 市前橋 9-5 慶應義塾(神奈川)
 準決勝 市前橋 8-11 作新学院(栃木) 市前橋は第3位

(女子) 団体決勝トーナメント

1回戦 市前橋 10-7 吉田(山梨)、尾瀬 10-5 桜修館(東京)
 2回戦 市前橋 8-6 清真学園(茨城)、尾瀬 9-6 厚木(神奈川)
 準決勝 市前橋 8-6 深谷第一(埼玉)、尾瀬 5-9 草加西(埼玉)
 決勝 市前橋 9-11 草加西(埼玉) 市前橋は準優勝、尾瀬は第3位

◎個人(男子) 間島笙太(前橋) 8射7中(20人) 射詰1中 順位なし
 齋藤廉(前橋) 8射7中 射詰3中
 菅野裕一朗(市前橋) 8射7中 射詰3中
 齋藤・菅野は7、8位決定のための遠近競射に進出(7人) 順位なし

(女子) 平野なな星(市前橋) 8射7中(4人)

4~7位決定のための遠近競射に進出 第7位
 福井藍月(尾瀬) 8射6中(23人) 射詰残念 順位なし
 河内あゆ(尾瀬) 8射6中 射詰1中 順位なし
 高橋美希(市前橋) 8射6中 射詰1中 順位なし

◎技能優秀 男子団体 前橋市立前橋高校 女子団体 前橋市立前橋高校
 女子個人 平野なな星(市前橋) 岡田優里美(市前橋)

平成30年度 群馬県高等学校弓道選手権大会(兼) 第63回全国高等学校弓道大会県予選会

- 期 日 平成30年6月9日(土) 男子団体予選、個人予選・準決勝：ヤマト市民体育館前橋弓道場
 10日(日) 女子団体予選、個人予選・準決勝：ヤマト市民体育館前橋弓道場
 16日(土) 男女個人決勝・団体決勝：ALSOKぐんま武道館弓道場
- 参加数 (男子) 43校 224名 (女子) 42校 231名
- 競技方法 団体戦は各校5名1チーム出場。各自8射計40射での中順に上位6チームが予選通過。
 決勝は総当たりリーグ戦(各自4射計20射ずつ)を行い、勝率で順位を決定。
 個人戦は団体戦出場者及び補欠選手が出場。予選は各自8射を行い、男子6中以上、女子5中以上が通過。準決勝は予選通過者が各自8射を行い、予選の成績と合計して13~24名程度が通過。決勝は各自8射を行い、予選・準決勝の成績と合計して順位を決定。

4. 成績

◎団体戦

(男子)

	予選	決勝リーグ(100射)		予選	決勝リーグ(100射)
1位	市前橋	29中 5勝0敗 77中	2位	前橋	26中 4勝1敗 59中
3位	前商	24中 2勝3敗 65中	4位	高崎	27中 2勝3敗 58中
5位	市太田	24中 2勝3敗 51中	6位	四ツ葉	22中 0勝5敗 44中

(女子)

	予選	決勝リーグ(100射)		予選	決勝リーグ(100射)
1位	市前橋	25中 5勝0敗 74中	2位	伊勢崎	24中 4勝1敗 66中
3位	健大高	23中 2勝3敗 55中	4位	育英	19中 2勝3敗 51中
5位	前東	19中 2勝3敗 46中	6位	利商	22中 0勝5敗 42中

◎個人戦(同中は1位・2位のみ射詰競射、他は遠近競射)

(男子) 予選・準決勝・決勝計的中数(24射)

1位	大森 翔貴(高崎3年)	24中	2位	菅野裕一朗(市前橋3年)	21中
3位	高橋 椋(育英3年)	20中	4位	木村 翔(市前橋2年)	20中
5位	湯本 祐太(吾中央3年)	20中			

(女子) 1位	近藤奈都未(伊勢崎3年)	19中○	2位	福井 藍月(尾瀬3年)	19中×
3位	山口 夢乃(四ツ葉3年)	18中	4位	町田佳央瑠(富岡3年)	18中
5位	井田 凜音(健大高3年)	18中			

※ 男女とも団体1位、個人1・2位が8月2日~5日に静岡県袋井市で行われるインターハイに出場。

※ 男子の市前橋は3年連続3回目、女子の市前橋は2年連続7回目の優勝

平成30年度 第11回県高等学校弓道遠的大会
(兼) 第20回紫灘旗全国高校遠的弓道大会県予選会

- 期 日 平成30年6月30日(土)
 - 会 場 ALSOKぐんま武道館弓道場
 - 競技方法 団体戦 各校3名2チーム以内
予選は各自8射計24射を行い、男女各上位6校を通過とする。
決勝は各自8射計24射を行い、予選の成績と合計して順位を決定する。
 - 成 績
 - ◎団体 (男子) 1位 太田A 2位 前西A 3位 大泉A 4位 市太田A
5位 吾中央A 6位 四ツ葉A
 - (女子) 1位 四ツ葉A 2位 新田暁A 3位 吾中央A 4位 共愛A
5位 大泉B 6位 前東A
- ※ 上位4校は、8月18日(土)～19日(日)に福岡県久留米市久留米アリーナ特設遠的場で行われる全国高校遠的弓道大会に出場。

平成30年度 第37回関東高等学校弓道個人選手権選抜大会県予選会

- 期 日 (男子) 平成30年7月26日(木) (女子) 平成30年7月27日(金)
 - 会 場 ALSOKぐんま武道館弓道場
 - 参加数 (男子) 46校 342人 (女子) 47校 355人
 - 競技方法 予選: 各自4射を行い、男女とも2中以上を通過とする。
決勝: 各自4射を行い、一次予選との合計的中数により1～12位までを決定する。
順位決定: 優勝と12位決定の競射は射詰とする。それ以外は遠近競射を行って順位を決定。
 - 成 績
 - (男子) 1位 菅野裕一朗(市前橋3年) 2位 星野 伊吹(尾瀬3年) 3位 田村 尊仁(吾中央2年)
4位 斎藤 大葵(県央2年) 5位 本間凜太郎(清明2年) 6位 登坂 颯(市前橋2年)
7位 星野 洸毅(桐商2年) 8位 佐野 晃司(市前橋3年) 9位 小林 蓮(太田1年)
10位 金井 颯都(利商2年) 11位 新井 弘祐(高北2年) 12位 林虎 之介(健大高2年)
 - (女子) 1位 福井 藍月(尾瀬3年) 2位 北條睦美子(前女2年) 3位 河内 あゆ(尾瀬3年)
4位 岡田優里美(市前橋3年) 5位 武井由里菜(尾瀬2年) 6位 菊地 琉伽(大泉2年)
7位 細谷 百花(清明2年) 8位 岡田 彩音(市前橋2年) 9位 金子みなみ(健大高2年)
10位 倉林 亜実(育英2年) 11位 小林 あみ(市太田3年) 12位 太田 舞(尾瀬2年)
- ※ 男女各12名が、9月8日(土)・9日(日)に明治神宮至誠館第二弓道場で行われる関東個人選手権選抜大会に出場。

平成30年度 第63回インターハイ結果

- 期 日 平成30年8月2日(木)～5日(日)
- 会 場 静岡市袋井市エコパアリーナ特設弓道場
- 参加数 団体: 男女各県代表の48チーム 団体(5名) 個人: 男女各県代表の96人
- 成 績
 - ◎団体 (男子) 前橋市立前橋高校 14中予選通過 (予選通過は11中競射 2/5)
決勝トーナメント1回戦 前橋市立前橋高校 15-12 角館高校(秋田)
2回戦 前橋市立前橋高校 14-13 井草高校(東京)
準々決勝 前橋市立前橋高校 13-11 県立千葉高校(千葉)
準決勝 前橋市立前橋高校 15-17 秀岳館高校(熊本)
3・4位決定戦 7中(10射)
前橋市立前橋高校 第3位入賞(インターハイでの男子団体入賞は2年連続)
 - (女子) 前橋市立前橋高校 11中予選通過 (予選通過は9中競射 1/7)
決勝トーナメント1回戦 前橋市立前橋高校 16-16 倉吉西高校(鳥取) (3-2)
2回戦 前橋市立前橋高校 16-13 飯田女子高校(長野)
準々決勝 前橋市立前橋高校 8-10 宮崎商業高校(宮崎)
5～8位決定戦 6中(10射)
前橋市立前橋高校 第7位入賞(インターハイでの女子団体入賞は6年ぶり)

- ◎個人 (男子) 菅野裕一朗 (市前橋3年) 4中 予選通過 準決勝 ○○○○ 決勝 ○○○○○×
 決勝5本目からは八寸的 第2位～5位決定の遠近競射に進出 第4位入賞
 (インターハイでの男子個人入賞は4年ぶり)
- 大森 翔貴 (高 崎3年) 3中 予選通過 準決勝 ○×○○ 決勝 ×
- (女子) 近藤奈都未 (伊勢崎3年) 3中 予選通過 準決勝 ×○○×
- 福井 藍月 (尾 瀬3年) 3中 予選通過 準決勝 ○○××

平成30年度 第37回 関東高等学校弓道個人選手権選抜大会結果報告

- 期 日 平成30年9月8日(土)～9日(日)
 - 会 場 明治神宮至誠館第二弓道場
 - 参加数 (男子) 102人 (女子) 102人
 - 競技方法 予 選: 各自4射を行い、男女とも3中以上を通過とする。
 準決勝: 各自4射を行い、男女とも3中以上を通過とする。
 決 勝: 準決勝通過者により射詰で順位を決定する。
 - 成 績 男子 予選通過者 4射3中以上 50名 女子 予選通過者 4射3中以上 38名
 男子準決勝通過者 4射3中以上 28名 女子準決勝通過者 4射3中以上 19名
- (男子)
- | | 予選 | 準決勝 | 決勝 (5本目から8寸的使用) |
|----------------------|---------|---------------|-----------------|
| 菅野裕一朗 (市前橋3年) | ○○×○3中 | ○○○○4中 | ○○○○× |
| 4、5位決定の遠近競射に進出 第4位入賞 | | | |
| 星野 伊吹 (尾 瀬3年) | 1中 予選落ち | 田村 尊仁 (吾中央2年) | 2中 予選落ち |
| 斎藤 大葵 (県 央2年) | 1中 予選落ち | 本間凜太郎 (清 明2年) | 2中 予選落ち |
| 登坂 颯 (市前橋2年) | 0中 予選落ち | 星野 洸毅 (桐 商2年) | 1中 予選落ち |
| 佐野 晃司 (市前橋3年) | 2中 予選落ち | 小林 蓮 (太 田1年) | 0中 予選落ち |
| 金井 颯都 (利 商2年) | 3中 0中 | 新井 弘祐 (高 北2年) | 3中 4中 |
| 林 虎之介 (健大高2年) | 2中 予選落ち | | |
- (女子)
- | | | | |
|---------------|---------|---------------|----------|
| 福井 藍月 (尾 瀬3年) | 2中 予選落ち | 北條睦実子 (前 女2年) | 2中 予選落ち |
| 河内 あゆ (尾 瀬3年) | 4中 2中 | 岡田優里美 (市前橋3年) | 4中 3中 ○× |
| 武井由里菜 (尾 瀬2年) | 3中 4中 × | 菊地 琉伽 (大 泉2年) | 0中 予選落ち |
| 細谷 百花 (清 明2年) | 2中 予選落ち | 岡田 彩音 (市前橋2年) | 1中 予選落ち |
| 金子みなみ (健大高2年) | 1中 予選落ち | 倉林 亜実 (育 英2年) | 2中 予選落ち |
| 小林 あみ (市太田3年) | 2中 予選落ち | 太田 舞 (尾 瀬2年) | 2中 予選落ち |

平成30年度 県高等学校弓道新人大会 (兼) 第37回全国高校選抜弓道大会県予選会

- 期 日 (男子) 平成30年10月20日(土) (女子) 平成30年10月21日(日)
- 会 場 ALSOKぐんま武道館弓道場
- 参加者 (男子) 46校 80チーム 282名 (女子) 42校 76チーム 276名
- 競技方法 団体戦は各校男女3名 各2チームまで出場。
 予選は各自8射、計24射で上位16チームを通過とする。
 決勝は各自8射、計24射と予選の成績を合計して順位を決定。
 個人戦は団体戦出場者及び補欠選手。予選は各自4射を行い、2中以上が更に4射を行い、予選の成績と合計して順位を決定する。ただし、団体戦出場者は団体戦予選の成績をこれにあてる。
- 成 績
 - ◎団体 (同中は競射により順位決定)

(男子) 1位 伊 工A	2位 前 商B	3位 吉 井A	4位 高 北A
(女子) 1位 市前橋B	2位 尾 瀬A	3位 健大高A	4位 清 明A
 - ◎個人 (同中は1位・2位のみ射詰競射、他は遠近競射)

(男子) 1位 金光 陸斗 (伊工2年)	2位 木村 翔 (市前橋2年)	3位 綿貫 魁 (前橋2年)
4位 本間凜太郎 (清明2年)	5位 高柳 遼 (健大高2年)	

(女子) 1位 齋藤 李実 (育英2年) 2位 一場 真奈 (吾中央2年) 3位 平野なな星 (市前橋2年)
4位 新井 日毬 (清明2年) 5位 藤生 姫 (四ツ葉2年)

※ 団体戦の優勝チーム、個人戦の1・2位は12月24日～26日に岡山県岡山市ジップアリーナ岡山で開催される第37回全国高校選抜弓道大会に出場。

平成30年度 第18回東日本高等学校弓道大会県予選会

1. 期 日 平成30年11月17日 (土)
2. 会 場 (男子) ALSOKぐんま武道館弓道場 (女子) ヤマト市民体育館前橋弓道場
3. 参加者 (男子) 団体戦 42校 75チーム (女子) 団体戦 39校 72チーム
4. 競技方法 団体戦は各校男女3名、各2チームまで出場。
予選各自8射、計24射で上位16チームを通過とする。
決勝は1チーム12射(各自4射)のトーナメント方式
個人戦は団体戦予選における各個人の成績で順位を決定
5. 成 績

◎団体戦

(男子) 1位 伊 工A 2位 桐 商A 3位 高 北A 4位 清 明A
5位 吾中央A 6位 太 田B 7位 尾 瀬A 8位 前 南B

(女子) 1位 健大高A 2位 市前橋A 3位 尾 瀬A 4位 市太田A
5位 育 英A 6位 渋 女A 7位 高 女B 8位 四ツ葉A

◎個人戦 (同中は1位のみ射詰競射, 他は遠近競射)

(男子) 1位 木村 翔 (市前橋2年) 2位 田村 尊仁 (吾中央2年)
3位 鳥羽 龍彪 (玉 村2年) 4位 萩原 諒 (前 橋2年)
5位 綿貫 魁 (前 橋2年)

(女子) 1位 小菅 彩 (前 東2年) 2位 平野なな星 (市前橋2年)
3位 倉林 亜実 (育 英2年) 4位 木内 瑞希 (伊勢崎2年)
5位 内林 仁奈 (市前橋1年)

※ 男子の伊工は初優勝、女子の健大高は4年ぶり2回目の優勝。

団体戦における上位7校は、3月23～25日に群馬県高崎市で開催される第18回東日本高等学校弓道大会に出場。

平成30年度 第37回全国高等学校弓道選抜大会結果

1. 期 日 平成30年12月24日 (月)～26日 (水)
2. 会 場 岡山県岡山市ジップアリーナ岡山特設弓道場
3. 参加数 団体：男女各都道府県代表の52チーム 個人：男女各都道府県代表の100人
4. 成 績
 - ◎団体 (男子) 伊勢崎工業高校 4中 予選落ち (予選通過は16チームで8中競射1/10)
 - (女子) 前橋市立前橋高校 3中 予選落ち (予選通過は8中以上)
 - ◎個人 (男子) 木村 翔 (市前橋2年) 3中 予選通過 準決勝 ○○○× 決勝 × 順位なし
金光 陸斗 (伊 工2年) 1中 予選落ち
 - (女子) 齋藤 李実 (育 英2年) 1中 予選落ち
一場 真奈 (吾中央2年) 2中 予選落ち

平成30年度 第18回 東日本高等学校弓道大会結果

1. 期 日 平成31年3月23日 (土)～25日 (月)
2. 会 場 群馬県高崎市高崎アリーナ特設弓道場
3. 参加数 男子15都道府県59校 女子15都道府県59校
4. 成 績
 - ◎5人制の部
(男子) 予選 尾瀬7中、清明10中、高北9中、伊工9、吾中央7中、桐商8中、太田15中
太田が予選通過 (予選通過は16チームで12中競射2/6)

(女子) 予選 市太田7中、育英9中、健大高12中、高女9中、市前橋9中、尾瀬12中、渋女11中
健大高、尾瀬、渋女が予選通過(予選通過は10中競射2/9)

(男子) 決勝トーナメント

1回戦 太田 12-2 佐倉西(千葉)
2回戦 太田 9-18 作新学院(栃木)

(女子) 決勝トーナメント

1回戦 渋女 10-8 秋田(秋田) 尾瀬 10-8 健大高
2回戦 渋女 9-12 名取北(宮城) 尾瀬 8-14 大宮南(埼玉)

◎3人制の部

(男子) 予選 尾瀬7中、清明6中、高北3中、伊工6中、吾中央4中、桐商5中、太田7中
尾瀬、太田が予選通過(予選通過は7中以上の32チーム)

(女子) 予選 市太田8中、育英8中、健大高6中、高女2中、市前橋8中、尾瀬2中、渋女6中
市太田、育英、健大高、市前橋、渋女が予選通過(予選通過は5中競射5/11)

(男子) 決勝トーナメント

1回戦 尾瀬 6-9 鶴岡工業(山形)
2回戦 太田 5-11 東北学院(宮城)

(女子) 決勝トーナメント

1回戦 市前橋 10-7 横浜栄(神奈川) 市太田 9-5 茂木(栃木)
健大高 5-11 大宮南(埼玉) 育英 8-8 吉田(山梨) 2-0
渋女 5-7 深谷第一(埼玉)
2回戦 市前橋 6-6 盛岡第三(岩手) 1-1、2-0
市太田 5-9 大宮南(埼玉) 育英 7-7 米沢興譲館(山形) 3-2
3回戦 市前橋 7-9 福岡工業(岩手) 育英 5-7 大宮南(埼玉)

小又秀雄先生範士拝受記念祝賀会

平成30年12月8日、群馬県弓道連盟・東毛連合会・桐生弓道協会共催による小又秀雄先生範士拝受記念祝賀会が、桐生プレオパレス2階タルティエヌ・エ・ショコラにおいて執り行われました。

埼玉県弓道連盟会長 本橋民夫先生、栃木県弓道連盟会長 森茂行先生、群馬県弓道連盟 須田定雄名誉会長から来賓のご祝辞をいただき、先生のお人柄を忍ばせる穏やかで華やかな祝賀会となりました。



編集後記

群弓連だより第118号をお届けいたします。

本年3月までの任期で役員が改選されます。広報部会につきましても、4月から齊藤昌之先生が広報部会長に就任することとなります。金山前理事長の部会長の後を継ぎ、部会長としては一期お世話になりました。新年度は、長年の課題でありましたHPを刷新すべく予算を確保していただきましたので、皆さまにとって見やすく使い勝手の良いものにしていきたい旨の引継ぎを行いました。群弓連HPへのご提案、ご要望等ありましたら、広報部会へお声がけいただければ幸いです。

広報部会：城代富美江、原澤かおる、齊藤昌之、高木正博